TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

令和２年７月の梅雨前線による大雨に関する注意喚起

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2020 年 7 月 8 日）

豪雨による被害に遭われたお客様におかれましては、心からお見舞い申し上げます。現在、活発な梅雨前線の影響により日本の広い範囲で激しい雨がもたらされています。九州では各県河川氾濫など甚大な被害が発生しています。梅雨前線は引続き７月８日（水）頃にかけて西日本、東日本に停滞するため、大雨が続く恐れがあります。本号では被害発生防止への注意喚起を中心にお伝えいたします。

1. 活発な梅雨前線による被害について

積乱雲が次々と帯状に発生する「線状降水帯」が形成されたことにより、九州各地で観測史上 1 位の雨量を観測、河川の氾濫による浸水や土砂崩れなど、甚大な被害が発生しています。

また、岐阜県・長野県で大雨特別警報が発表され、最大級の警戒を促しております。

今後、雨雲は南にそれ、午後には静岡県などが雨のピークになります。

国際航業社　防災情報提供サービスサイトより　7/8　14 時時点での降雨量予測（紫は現在大雨特別警報が発表されたエリア）

2. 注意喚起について

７ 月 ４ 日（土）以降降り続いている雨により、九州北部・南部エリアは地盤が緩み、川の堤防が破損した場所では災害発生の危険性が非常に高くなっています。加えて、長野、岐阜・静岡を含む東海地区も警戒が必要です。

梅雨前線は ７ 月 ８ 日（水）頃にかけて西日本、東日本に停滞するため、大雨が続く恐れがあります。ご参考として雨の『遮断』と浸水に対する『高所避難』をポイントとしたチェックリストを添付致しましたので、事前に十分な対策を講じることをお勧めします。

また、現在も大雨が継続していることから、常に最新情報をご確認下さいますようお願いします。

3. 貨物保険の事故が発生している場合

ご契約頂いております貨物に損害が発生している場合には速やかにご契約の代理店または弊社までご連絡ください。

◇◆◇◆◇◆